



夢は世界一 苦難を乗り越え掴んだ夢舞台



車いすハンドボール日本代表
いとう まさや
伊藤 優也 さん (市内在勤)

18歳のとき、不慮の事故により車いす生活に。絶え間ない努力と持ち前の明るさで、苦難を乗り越えてきた伊藤さん。

仕事終わりや休日は練習に励み、オフの日はお子さんと航空記念公園で遊んだり、家族でエミテラス所沢に出かけることが多い。

写真提供：TAJIMA LICO



▲試合中の伊藤選手

一般的なハンドボールで使用するボールと競技用の車いすを使い、巧みなチェアワーク・パス・ドリブルなどを駆使して相手ゴールを狙う「車いすハンドボール」。昨年9月、エジプトで開催された世界選手権大会に臨んだのが、車いすハンドボール日本代表の伊藤優也さんだ。

東京都出身。幼い頃から活発で、体を動かして遊ぶのが大好きだった伊藤さん。友人たちとやるサッカーが楽しくて、休み時間がとにかく待ち遠しかったという。中学では部活には入らずスポーツから離れ、高校ではバイト漬けの日々。高校卒業後は就職し、新生活が始まったと思った矢先、伊藤さんは不慮の事故に遭遇してしまう。

意識が戻ったときは病院のベッドの上。何が起きたのか思い出そうとしたとき、自分の体に違和感を覚えた。「足が動かない…」。医師から告げられたのは「もう歩くのは難しい」という信じたくない内容だった。

リハビリ生活を送る中で、ある日、医師から「車いすスポーツをやってみたら？」と勧められた。体を動かすことが好きだった伊藤さんは、二つ返事で「やってみたいです!」と答えていた。

病院の体育館に行くと、車いすバスケットボールの試合が行われていた。試合

後に競技用車いすに乗せてもらったが、まるで羽が生えたかのように風を切って走った感動を、今でも覚えているという伊藤さん。

退院後は、パソコンをゼロから学び、再就職。仕事終わりや休みの日は車いすバスケットを楽しんだ。

他のパラスポーツにも興味があった伊藤さんは、知人の紹介で車いすハンドボールの体験会に参加することになる。初めての競技に苦戦するも、車いすバスケットで培ったスキルを活かし、力強いシュートで相手ゴールを揺らすことに成功する。この体験会をきっかけに、伊藤さんの人生は大きく変わり始める。

それからは本格的に車いすハンドの練習に熱を入れ、目覚ましい勢いで成長を遂げていった。2021年に東京の車いすハンドボールチームに所属し、大会では着々と結果を残していった伊藤さん。このときから「世界の舞台で戦いたい」と思っていた。そして2024年9月、ついに車いすハンドボール日本代表として世界戦デビューを果たした。

「憧れていた舞台で日の丸を背負って戦えた。諦めないで続けてきて本当に良かった」という伊藤さん。結果は5位だったものの、負けた悔しさから猛練習を重ね、同年11月に行われた日本選手権大会ではチームを優勝に導き、見事MVPを獲得した。

「夢は世界一。これまで支えてくれた家族や職場の人たちのためにも、絶対に獲りにいきます」と、周囲への感謝を胸に、今日も練習に励む。(取材：関)

今月のプレゼントクイズ!

算数をもっと好きになる♪ テキストもプレゼント!
そろばん無料体験レッスン4回分(7,000円相当×5人)



入学や新学期が始まる季節。お子さんの計算力や集中力、記憶力やひらめき力など、そろばんを使って楽しく伸ばしませんか?一人ひとりのレベルに合わせて、先生がやさしく丁寧に教えてくれるので初心者の方でも安心。そろばんを通じて、算数を好きになろう♪

●さかいそろばん教室 (所沢教室)
元町7-5レインボーシティ 203
☎042-391-2790
(月・水・金曜午後3時10分~6時30分/火・木・土・日曜定休)

▶公式☎はこちら。



◆今月のクイズ

9・10・12面のクイズを解き、空欄に入る文字を順番につなげると?

◆応募方法 (3月10日(月)締め切り)

①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦3月号の感想を記入し、〒359-8501広報課(住所不要)に郵送・市☎(Qプレゼント)で応募

◎当選者の発表は、引換券の発送をもって代えさせていただきます。



▲市☎

読者感想文

- 中学校の部活動が地域展開になることを初めて知りました。中学生をはじめ、部活動に関わる全ての人々が、良いと思える形で活動できたら素晴らしいと思います(上安松・30代)
- 現在、子どもが2人いるのですが、中学に入学するときは今とまた状況が違っているのかなと考えさせられる内容でした(北岩岡・20代)
- 変わる部活動の記事を読んで、とてもいい試みだと思いました。先生や親ではないからこそ相談しやすかったり、地域の方は子どもと関わることで生きがいややりがいを感じられると思います(小手指南・50代)

編集から ●これからの中学校の部活動が変わろうとしています。少子化により所属人数が減っていく中で、「毎日部活が楽しい!」「明日も部活に行きたい!」と思えるような部活動にしていくには、地域の方たちの協力が必要なのです

●大阪・関西万博に、狭山茶のブースが出展されるという記事が印象的でした。行くのを迷っていましたが、ブース出展に合わせて行きたいと思います(山口・20代)

編集から ●全国有数のお茶と茶室の産地5市がコラボレーションし、日本茶の魅力をお伝えします。この機会に、日本茶の歴史や文化をお楽しみください!

編集後記

はつらつとことろっこにご登場いただいた、車いすハンドボール選手・伊藤優也さん。実はとっても気さくな方で、競技中の写真からは想像できないくらい、明るい方でした。車いすスポーツの魅力について伺うと、「タイヤの焦げたにおいや、車いす同士がぶつかった衝撃ですね。実際に生で見てもらうと、面白さが伝わると嬉しいです!」とのこと。試合会場で伊藤選手を応援しましょう♪(関)

私の長所は「花粉症ではないこと」です。花粉症ではない私にとって、春は心が躍り1年で一番好きな季節です。春休みのお出掛け先に悩んだら、9面掲載の「チラデジ」をご利用ください!(深町)

3月は出会いと別れの季節。誰ももここに負担がかかるものです。季節の移り変わりを愛でつつ、自分をいたわりながらお過ごしください。余裕があれば、誰かのゲートキーパーに…(上地)